

第2分科会「組織・運営」 運営概要

- | |
|---|
| 【研究課題】 学校経営ビジョンの実現と活力ある組織づくりにおける校長の在り方 |
| 【研究の視点】 1. 学校経営ビジョンの実現に向けた運営組織の構築 |
| 2. 活力ある運営を実現するための組織の活性化 |

分科会研究協議の運営計画

校長には、子どもたちに新しい時代に必要となる資質・能力を育むとともに、教育改革の中で示された新たな課題への対応を含め、今後の我が国の教育の方向を見据え、学校経営を進めることが求められている。そのためには、差し迫る課題に取り組み、子どもたちにより良い教育を提供できるように教育活動の成果を検証し、学校運営を改善することにより、教育水準の向上を継続的に図ることが必要である。さらに、学校運営に対し、適切に説明責任を果たすとともに、保護者・地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携・協働による学校づくりを進めることが期待される。

また、学校運営には、不易と流行を踏まえ、将来を見据えた明確な学校経営ビジョンに基づく教育活動を推進する組織が求められており、教育課程の改善のみならず、それを実現する学校の体制整備が不可欠である。そのためには、校長は、学校教育目標の実現を目指し、リーダーシップを適切に発揮する必要がある。さらに、学校経営ビジョンを明確に示し、教職員が課題と実現に向けた具体策を理解できるよう働きかけ、目標達成に向けて組織として教育活動に取り組む体制を創り上げるとともに、活力ある運営組織を構築する必要がある。

学校が教育課題に積極的かつ柔軟に対応するためには、学校組織を活性化し、教職員個々の意識の高揚を図り、教職員がもつ資質・能力を引き出し高める組織の在り方や体制づくりが求められる。

本分科会では、校長の示す学校経営ビジョンの実現を図るための活力ある組織づくり及び組織を運営していくための具体的方策と成果を明らかにする。

視 点 1 学校経営ビジョンの実現に向けた運営組織の構築

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・教職員が自らの使命を自覚し意識の高揚を図る校務組織の構築・組織的、協働的な学校運営に向けた組織運営体制・指導体制の充実 |
|---|

視 点 2 活力ある運営を実現するための組織の活性化

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・自己の資質向上が実感できる体制づくり・学校職員間におけるコミュニケーションの確立 |
|--|

昨年度までの成果・課題

【成 果】

- (1) 学校経営ビジョンの実現のためには、具体的でわかりやすい学校経営方針やポイントを絞り込んだ明確なビジョン設定が必要である。さらに、学校経営のポイントをグランドデザインで示したり、目標を数値化したりすると効果的であることが確認できた。
- (2) 活力ある学校づくりを推進していくためには、地域との双方向の協力体制は不可欠であり、地域・保護者・学校(職員)をコーディネートするための校長の調整力・情報発信力が重要であることが分かった。
- (3) 学校を活力ある組織にするためには、若手・ミドル・ベテランのそれぞれが輝くことが必要であり、そのための配置や役割、OJTの工夫をすることで同僚性や教師力が高まることが分かった。

【課 題】

- (1) 職員の価値観も多様化していく中、それぞれの年代の職員の意欲を喚起し、納得感を与えるような校長の話す力と聞く力(コミュニケーション力)向上が必要となっている。
- (2) 学校経営ビジョンを実現するために独りで頑張るのではなく、教頭と綿密な情報共有を行ったり、学校を支えるミドルリーダーの育成を図ったりしていかなくてはならない。
- (3) 世代交代を視野に入れた長期的な展望を持った組織作りや研修の在り方を考えていかなくてはならない。

研究発表の概要

【視点1】学校経営ビジョンの実現に向けた運営組織の構築

研究発表者：神奈川県相模原市立並木小学校 校長 福田 雅一

「相模原の大地に根ざした学校経営をめざして

～児童の学力向上を図る相模原市小学校長会の取組～」

発表の趣旨

子どもたちは、経験の不足や体力の低下、生活習慣の乱れやいじめ問題に直面し、その解決が急務となっている。また、教員の指導能力の向上、子どもと向き合う時間の確保などに加え、次世代の管理職の計画的育成が大きな課題となっている。相模原市校長会としては、6つのブロック校長会で、より効果的、具体的な学校運営ができるよう取り組んできた。

発表では、年度途中で発生した喫緊な課題について本部課題として迅速に取り組んできたプロジェクトの取組の一端を紹介する。

【視点2】活力ある運営を実現するための組織の活性化

研究発表者：旭川市立富沢小学校 校長 玉井 一行

「状況に応じた校長のリーダーシップとマネジメントについて

～組織を変革し活性化する状況の見極めとその工夫～」

発表の趣旨

学校を取り巻く社会状況の複雑化、多様化の中、学校は目標を社会と共有し、これからの時代を生き抜く子どもたちに必要な資質・能力を育むことを目指している。各学校においては、学校経営ビジョンに掲げた目標実現のための組織づくりとともに、その組織を十分に機能させることが重要である。校長には、これまで以上に強いリーダーシップを適切に発揮し、学校組織マネジメントを強化することが求められている。

本共同研究は、校長が強いリーダーシップを発揮し、教職員の経営参画意識を高めるとともに、学校組織全体の総合力を高めるため「校長のリーダーシップの発揮と、組織マネジメント強化と活力ある組織運営の充実・改善」を研究課題として調査・研究したものである。

協議の流れ

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 開会・日程確認 (10分) | 7. グループ協議 視点1・2 (60分) |
| 2. 趣旨説明 (10分) | 8. 全体協議 (20分) |
| 3. 研究発表 視点1・2 (40分) | 9. まとめと今後の課題 (10分) |
| 4. グループ協議 (15分) | 10. 全体交流 (10分) |
| 5. 全体協議 (15分) | 11. 連絡・閉会 (03分) |
| 6. 休憩 (10分) | |

討議の柱

【視点1】「校長の学校経営ビジョンの実現に向けた運営組織はどうあるべきか。」

キーワード：学校運営組織の再構築，人材育成・教職員の資質向上，グランドデザイン，学力・体力向上

【視点2】「活力ある学校運営を実現するために校長の組織マネジメントはどうあるべきか。」

キーワード：校務分掌組織の改善，校内の・連携協働体制の確立，ミドルリーダーなどの人材育成，

校長のリーダーシップ，組織マネジメント

お願い

グループ内で名刺交換を行いますので6枚程度お持ちください。

グループ編成及びグループ討議の司会・記録につきましては、後日、北海道小学校長会ホームページに分科会参加者名簿（座席表）を掲載しますのでご確認ください。司会・記録を担当していただく方につきましては、当日のグループ討議の進行・記録をよろしく願いいたします。

各地区・各校の現状や取組についてグループ討議の中で交流します。

自校の学校経営を端的にまとめたグランドデザインなどの資料（A4版 1枚程度 表裏印刷可）をできる限りお持ちよりください（6部）。